

手を取りあって ごみを減らそう!

数字でわかる!
ごみ減の活動と実績

京都市ごみ減量推進会議



京都市ごみ減量推進会議の会員数

464 団体

→ 6ページ: 一緒に活動する会員団体数

学校給食用牛乳の紙パック
年間リサイクルパック数



約 **1300** 万パック

→ 5ページ: めぐレット



京のお直し屋さん紹介サイト
「もっぺん」登録数

約 **200** 店舗



→ 4ページ: 京のお直し屋さん紹介サイト「もっぺん」

市役所前フリーマーケット開催数

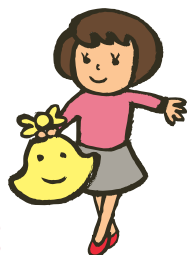


のべ **200** 回以上

→ 5ページ: 市役所前フリーマ

地域ごみ減量推進会議
設立団体数

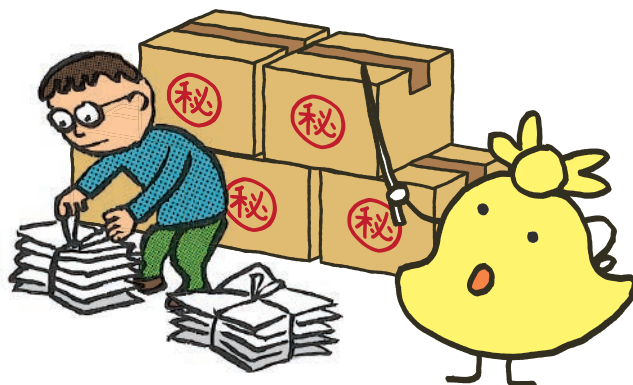
188 団体



→ 6ページ: 地域ごみ減量推進会議の活動支援

秘密書類年間リサイクル量

約 **800** トン



→ 5ページ: 秘密書類リサイクル

(平成27年8月現在)

🔍 ごみ減

検索 で検索できます

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

植物油インキで
印刷しています。



R100
古紙バブル配合率100%再生紙を使用

京都市ごみ減量推進会議とは

ごみを減らし、環境を大切にしたいまちと暮らしの実現を目指す
市民・事業者・行政 のパートナーシップ団体です。

会員数

464 団体

NPO・環境団体などの
市民団体、事業者団体、
企業、大学等、で組織
されています。

活動

様々な方々と協働し、市内全域を対象に活動を展開しています。
 会員の市民・事業者・行政で意見を出し合いながら活動を進めています。



運営 資金

会費や寄付金、京都市からの補助金*などで運営されています。

※ごみ減の活動には、
家庭ごみの有料指定袋の
収入が使われています。

取組 体制

取組体制と実行委員会の活動内容

会長

高月 紘

京都大学名誉教授・京エコロジーセンター館長

理事会

普及啓発実行委員会

ごみ減量に関する情報発信
や普及啓発活動の企画・
実施

【活動】

- ・広報活動
- ・会報誌
- ・ごみ減量啓発イベント
- ・講座

ごみ減量事業化 実行委員会

家庭や事業所等のごみ減量
に関する市内全域を対象とし
た事業の企画・実施

【活動】

- ・再生紙推進事業
- ・市役所前フリーマーケット
- ・市民等からの提案による
ごみ減量モデル事業
- ・秘密書類リサイクル事業

地域活動実行委員会

地域における取組の推進や、
新たなごみ減量取組への
気付き・学びとなる場の提供

【活動】

- ・地域ごみ減活動支援
- ・行政区単位でのごみ減量
活動支援

2R型エコタウン構築 事業実行委員会

2R(発生抑制、再使用)の考え
方を特に重視した、ビジネス
のあり方や市民のライフスタイル
に対しての取組の実施

【活動】

- ・2Rモデル実施
- ・2R文化発信
- ・リペア・リメイク情報発信

会員数

188 団体

小学校区(元学区を含む)を
基本単位として、
自主的に組織された
団体です。

地域ごみ減量推進会議とは

地域の力 を結集して、ごみ減量活動を
推進している団体です。

エコまちステーションと連携しながら、使用済てんぷら油や古紙等の資源物回収、フリーマーケット、環境学習会など、その地域の特性に合わせたごみ減量やリサイクルなどの取組を実践しています。

京都市ごみ減量推進会議は、この「地域ごみ減量推進会議」と二人三脚で、地域や家庭でのごみ減量活動を進めています。



声

地域ごみ減量推進会議で活動する
みなさんの声を集めました。



使用済てんぷら油回収

地域の見守りにもつながる

地域の方の顔をみて回収しています。顔を見ることで使用済てんぷら油を回収する啓発にもつながるし、地域の見守りにもつながると考えています。

六原地域ごみ減量推進会議
会長 本政八重子さん



古紙回収

地域に定着

私たちは、古紙の回収時に資源物の回収も行っており、長年活動をしてきたので、地域にも定着し、回収日にはたくさんの資源物が集まるようになりました。

今後は、雑がみの分別も啓発していきたいと考えています。

南太秦女性会ごみ減量推進会議
会長 菊池初江さん



施設見学

新たな発見や体験ができる

自分たちが知っていても、同じように相手が知っているとは限りません。

環境施設の見学は、楽しみながら、新たな発見や、学ぶべきことを一緒に体験をできる機会と考えています。

室町地域ごみ減量推進会議
会長 織田英夫さん



学習会の開催

仲間との交流

リーダー養成講座へ参加し、家庭から出るごみを計り、目に見える形で学べたので、「私のとこ、こんなに重かったの?」とびっくりしました。仲間が多いと、ごみ減量のやりがいもあります。

桂東地域ごみ減量推進会議
会長 山村和子さん



会員の声

廃 棄物削減やリサイクル向上のヒントをたくさんの事例で学ぶことができ、当社の環境活動に役立っています。

日新電機株式会社 生産技術部 設備・環境グループ
テクニカルエキスパート/主査 浦野新一さん

ご み減を通して、地域と関わりを持つことができました。また、地域のお店や団体の活動などが互いにつながるようになりました！

有限会社ひのでやエコライフ研究所
研究員 大関はるかさん

秘 密書類リサイクル事業を活用した資源の有効利用や、医療従事者の意識向上に役立てています。



京都第一赤十字病院
調度課長 田中宏幸さん

京 都市ごみ減量推進会議の活動には先進的な取り組みが多く、いつも勉強させてもらっています。これからも一緒に取り組んでいければと思っています。

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科
准教授 山川肇さん

ご み”は主婦のもっとも関心のあることの1つです。自分の家のごみも、埋立地のごみもしっかり見て、子供たちにエコのしつけをと思っています。

日本環境保護国際交流会(J.E.E.)
細木京子さん

市 民主体で全国に先駆けた京都発のごみ減量モデルの構築やその推進が出来る背景には、市民、事業者、行政などの協働を支えるごみ減の活躍があるからこそ！

NPO地域環境デザイン研究所 ecotone
代表理事 太田航平さん

ご入会の案内

年会費は10千円です。企業、大学等は20以上でお願いいたします。

市民団体・消費者団体・環境団体等や地域ごみ減量推進会議は10以上でお願いいたします。

入会をご希望される団体は、入会申込書にご記入の上、事務局までご送付ください。

(地域ごみ減量推進会議の活動に参加をご検討の方は事務局までご連絡ください。)



申し込み用紙は「京都市ごみ減量推進会議」のホームページからダウンロードできます！

<http://kyoto-gomigen.jp/> トップページ → ごみ減とは? → 会員のお誘い をご覧ください。

(下記の入会申込書をコピーしてお使いいただくこともできます。)

京都市ごみ減量推進会議 入会申込書

京都市ごみ減量推進会議 入会申込書		申込日	年	月	日
団体又は法人の 名称及び代表者名	⑤	所属・担当者名			
住所・所在地	〒				
TEL/FAX	e-mail				
設立目的・ 活動内容					
現在のごみ減量や リサイクルの活動と 今後取り組みたい活動					

入会が承認されましたら、入会申込書の内容を会員名簿に掲載いたしますので、その旨ご了承ください。特に不都合がある場合は、事務局までご相談ください。

お問い合わせ・
申込書送付先

京都市ごみ減量推進会議 事務局 <http://kyoto-gomigen.jp/>

TEL:075-647-3444 FAX:075-641-2971 e-mail: gomigen@kyoto-gomigen.jp

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13番地 京エコロジーセンター活動支援室内

手を取りあって ごみを減らそう！

なぜ、「ごみ」を減らすのか？

ごみは、最初からごみだったわけではなく、すべてが商品・製品でした。

「ごみを捨てる」ということは、私たちが使ってきた商品あるいは製品を捨てるということになります。

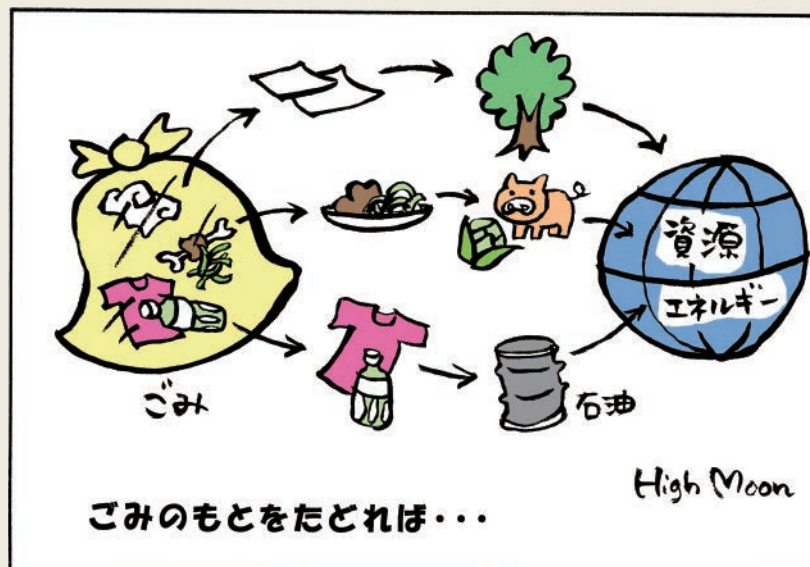
いま、私たちはその意味を、考える必要があります。

商品・製品は、もともとは食べ物や農作物、鉄や木、石油など、すべて地球の貴重な資源やエネルギーで作られています。

ごみを減らすということは、地球の資源・エネルギーをできるだけ大切にしていこうという活動なのです。

それは、廃棄物の削減だけではなく、地球温暖化対策や生物多様性の保全など地球への環境負荷を減らすことにつながっていきます。

みんなで手を取りあって、ごみを減らし環境を大切にしたいまちと暮らしの実現を目指して、様々な活動を一緒に展開していきましょう！



作者註：ごみを減らせば、地球の資源・エネルギーを節約できます



さまざまな情報を発信！

講座・見学会の開催

開催数

の140回以上



企業向けやこども向け、市民向けなどの講座やワークショップを開催しています。開催講座にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

開催例

企業向け講座

【ごみ減量実践講座】

- グリーンビジネス最前線
～カーボンフットプリントを明日に活用するために～
講師：上山静一氏（流通環境経営研究所）
- アミタ堀口さんに聞く！
廃棄物管理の基本とノウハウ講座
講師：堀口昌澄氏（アミタ株式会社 主席コンサルタント）など

【見学会（ミニツアー）訪問先】

大津板紙株式会社本社工場、株式会社インダ滋賀事業所、
京都駅ビル開発株式会社、廃棄物中間処理施設 など

こども・親子向け講座

- ハイムーン先生のまんがを描いてごみをへらそう
- 牛乳パックからはがきを作ろう！
（紙漉きワークショップ）
- 親子向けイベント「紙フェス in 京都
～遊びと学びの紙の世界～」など



市民向け講座

- ごみにまつわる映画祭
- 終活の第一歩 ～身のまわりの整理を考える など

京のお直し屋さんと リユースショップ情報サイト 「もっぺん」

登録店舗数

約200店舗



モノを簡単に捨ててしまうのではなく、長く大切に使用していきたい。そんな思いから生まれたウェブサイトが「もっぺん」です。京都市内の洋服から家電まで、様々なモノの修理、リメイク、リユースに携わるお店をたくさん紹介しています。

会報誌・ホームページで情報発信

ごみの出ないライフスタイルや、ごみ減量の取組を応援する情報を発信しています。また、当ホームページでは、他団体からのイベント等をお知らせするコーナーを設けております。



会報誌「ごみ日和」

みなさんの取組をご紹介しますので「こんな活動しているよ!」とお知らせください!

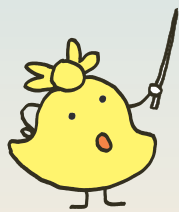
詳しくは事務局まで、お電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください。

ごみ減量啓発ブースの出展

市内で開催されるイベントで、ごみ減量のヒントになるようなクイズやエコ知識の発信を行っています。

日常生活の中でのちょっとした工夫やアイデア「これならできそう!」「これならやってみよう!」を見つけにきてください。





環境を大切にしたモノ・コトをお届け！

市役所前フリーマ

市役所前フリーマーケット開催数

の **200** 回以上



「いらなくなったら、いる人へ」を合言葉に、日用品をリユース。毎回多くの人が訪れるフリーマーケットは、取組開始からのべ200回以上開催。出店数は各回約160ブースで、約30,000団体の方に利用いただいています。



めぐレット (トイレット)



学校給食用牛乳の紙パック (200ml)
年間リサイクルパック数

約 **1300** 万パック



めぐレットとは、京都市の子どもたちが洗って集めた「学校給食用牛乳の紙パック」をリサイクルしたトイレットペーパーです。めぐレットを購入することで、子どもたちの取組を、直接応援することができます。めぐレットは市内数店舗で販売しています。

- めぐレットを購入して、
- 子どもたちと一緒に
- 循環型社会をつくらう!!

めぐレットは
一巻130m

紙質も
良いよ!



秘密書類リサイクル

秘密書類年間リサイクル量

約 **800** トン



シュレッダーの手間も、搬送の手間も不要! 秘密を保持したままで、書類を段ボールにリサイクルできます! 年間約800トンの秘密書類が、焼却を免れて、段ボールに生まれ変わっています。まだ燃やされている紙たちを救うのは、あなたです!



秘密書類リサイクルを利用してみたい方は、事務局までお電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください。また、ホームページにてご利用の手順をご案内しております。

(ご利用の際は当会議にご入会をお願いします。)

その他の取組

エコ商店街

商店街ならではの、はかり売り・はだか売り・対面販売といった販売方法や地域力とあって、地域のライフスタイルを変える取組みをしてきました。商店街によるエコスタンプ事業などは現在も継続しています。



ようきへらそうキャンペーン

レジ袋やトレーなどの容器や包装を、できるだけ減らした売り方・買い方を地域とスーパーとともに実践しました!





一緒に活動しよう!

一緒に活動する 会員団体数

会員数

464 団体



市民(市民団体・NPOなど), 事業者(企業・事業者団体・大学など), 行政(京都市)が, 様々な立場からお互いに協力・連携し, ごみの減量に取り組んでいます。情報交換や活動をととして, 仲間をつくり, 新たな活動を展開しています。ごみを減らし, 環境を大切にしまちと暮らしの実現を目指して, 一緒に活動しませんか?

会員になると?



- ごみ減量や環境問題に関する情報, イベント・講座等の案内が届きます
- 会報誌や当ホームページ, イベント出展等で環境の取組を発信できます
- 秘密書類リサイクル事業を利用することができます(詳しくはウェブサイトへ)
- とともに活動する仲間が見つかります

地域ごみ減量推進会議の 活動支援

地域ごみ減量推進会議設立団体数

188 団体



地域ごみ減量推進会議(P. 2 参照)として活動することで, 京都市ごみ減量推進会議からのごみ減量活動に対する助成金を利用することができます。また, 京都市ごみ減量推進会議が開催する講座や学習会, 施設見学会などに参加することができます。地域ごみ減量推進会議にご興味を持たれた方は, 是非ご連絡ください。



公募による助成で活動を応援

これまでの助成件数(平成18年度から)

99 団体 **約380** 万円 (平成27年度実績)

平成27年度の助成額



◀ ごみ細組成調査の冊子やパネルを啓発資料として活用
(もったいないを伝えるごみ図鑑編集委員会)



京都市内の市民団体や発生抑制・リユース・リサイクルの活動に役立てて頂くための助成制度を設けています。市民団体や地域のごみ減量活動を応援しています。

▲ リユース食器を購入して地域のイベントで活用
(伏見板橋小学校PTA)